

## 小田原市青少年問題協議会 会議録

- 1 日 時 平成28年7月5日(火) 午後3時00分～4時30分
- 2 場 所 小田原市役所 議会全員協議会室
- 3 出席者
  - (1) 委 員 加藤憲一(会長)、橋本輝夫(副会長)、磯田待子、今屋健一、大川良則、大木敏正、大澤弘美、大場得道、川瀬貴美子、川向妙子、塩原正美、下田成一、高瀬敏明、田中修、錦織基剛、野崎忠、長谷川住子、和田重宏
  - (2) 事務局 山崎子ども青少年部長、北村子ども青少年部副部長、石井青少年課長、宮川青少年課副課長、浅野青少年相談担当副課長、淵上育成係長、脇主査
- 4 議 事
  - (1) 平成28年度青少年関係事業について
  - (2) 意見交換
  - (3) その他

### 5 会議の概要

#### (1) 平成28年度青少年関係事業について

事務局

資料1「平成28年度青少年関係事業」について説明。

青少年団体育成事業 / 子どもの見守り拠点づくり事業 /  
放課後児童クラブ事業 / 地域の子どもの活動情報発信支援事業  
/ 青少年と育成者のつどい / 指導者養成研修講座「おだわら  
自然楽校」 / 指導者派遣事業 / 地域・世代を超えた体験学習  
事業「あれこれ体験 in 片浦」 / 青少年活動友好都市交流事業  
/ 青少年相談体制充実事業

議 長

平成28年度青少年関係事業について、事務局から概略を説明させていただいた。皆さんから、ご質問やご意見があればお願いしたい。

(質疑なし)

議 長

各事業の実施にあたっては、皆さんの諸団体や、地域の皆さんにもお世話になっており、またご苦労をおかけするが、よろしく願いたい。ご質問もないようだが、事務局から何かあるか。

(補足等なし)

議 長

平成28年度は、先程説明した事業内容で進めていくので、よろしく

お願いしたい。

## (2) 意見交換

議長

それでは、議題2ということで、意見交換に移らせていただきたい。これについては、事前に「子どもの居場所について」との内容で通知をさせていただいたものである。終了予定の4時30分まで、有意義な意見交換ができればと思う。まず、事務局から今回のテーマについて説明願いたい。

(事務局説明)

議長

引き続き、「子どもの居場所づくり事業の取組状況について」説明をお願いしたい。

(事務局説明)

議長

ただ今事務局から居場所づくりについて説明をさせていただいた。子どもにとって、どんな居場所が必要かは、それぞれの立場を通じ、色々な考えがあると思う。見守り拠点づくりは4地区、情報発信は5地区となっており、地域の方には負担や担い手などの課題を抱えながらも進めていただいているとのことである。一方で、今年度から学校ではコミュニティスクールの活動がはじまり、酒匂小学校では、放課後子ども教室等、それぞれの機関や場で、少しずつだが居場所づくりが広がってきている。地域の中で子どもたちが育っていくために、色々な居場所があって欲しい。今日は、活発にご意見が頂戴できればと思う。まずは、小田原の子どもたちにとって、どんな居場所が求められているのか、どういった居場所づくりが必要とされているのか、どんな場所でどんな活動ができるのかといった点について皆さんのご経験や事例なども交えながら意見交換をしてきたい。

委員

居場所を必要とする青少年は、自分の存在を認めてもらえる場所が居場所だと思う。家庭、学校、友人間、地域であれ、自分という個の存在を認めってもらえる機会が必要。推進員の仲間が、学校になじめず、それでも高校に行きたい子に、無償で勉強支援を始めたと聞いた。お菓子の差し入れもあるそうだが、そういう子は、家庭での環境がなかなか整わず、学校や社会からもはぐれてしまっている。青少年と接する機会も少ないが、青少年育成推進員協議会でも、自分の存在、個の

	<p>存在を認めてもらえる機会を作りたい。それは、どんな場であれ、非常に大切なことだと考えている。</p>
議長	<p>ありがとうございました。各団体において組まれている年間行事があると思うが、事業の狙いという部分で突き詰めていくと、年頃の子どもたちへのターゲットの絞り込みという点では欠けている部分があるのかもしれないと思うので、ご発言いただいた内容は大事なことであると感じる。</p>
委員	<p>5年ほど前に子ども達の居場所を有志で作し、当初は中学校で問題を起こす子が、学校の先生の紹介で、酒匂の集会施設に来ていた。何をするわけでもなく、同じ空間で話しているが、何をしたいか聞いたら、勉強をしたいと言われた。学校では勉強をせず困っている状態にもかかわらず、本人からそう言われたので非常に驚いた。現在は、学校で問題視されているわけではない子どもが数名集まっている。ここは認められる場だから楽しみにして来るのだろうか。大川さんがおっしゃった通りだと思う。こうしたら子どもが元気になった、成績が伸びた等、結果を求めて悩んだ時もある。青少年育成講演会で、悩みを質問したが、無意味な無駄な時間が必要だと言われた。この活動は組織化されていないが、育成協議会だと、勉強しないなら来なくていいという価値観もあるかもしれないので、広げられないかと思う。</p>
委員	<p>その活動で、差し入れのケーキを楽しみにしていて、無い時はがっかりする子もいると聞いた。食も満たされていない子に、協議会で出来ることを模索していきたい。中学生になっても、ケーキを食べたかった子がいるというのを耳に入れておいて欲しい。</p>
委員	<p>新聞で大きく酒匂のこども食堂が取り上げられたが、それと関わりがあるのか。現在、地域の活動として私自身、公民館を借りて、40年近く子ども文庫というものをボランティアで行っている。本の貸し出しやお楽しみ会等をしており、出前講演で様々な場所に出かけていく中で放課後子ども教室にも行ったことがあった。放課後子ども教室と、放課後児童クラブでは、場所や時間、宿題の指導や関わる人も異なるということだが、その違いがよく分からない。酒匂のこども食堂は、学校の教室ではなく地域の集会所でやる事に意味があるのか。</p>
事務局	<p>議長、ここで「こども食堂」について説明をさせていただきます。</p>

(事務局説明)

議長 放課後子ども教室は、下校後に児童が学校で体験学習等をして過ごす場であり、スタッフとしては、以前校長先生をやられていた方や教員のOB、地域で専門知識を持つ方が関わっている。放課後児童クラブは、いわゆる学童保育でありまして、児童が帰宅しても保護者が不在である場合などにお預かりしている。酒匂小学校では、いずれこの2つの事業を連携していくという視野をもって、教育委員会が取り組んでいるところである。また今年度から、三の丸小学校では、2つの事業が連携した形で運営をしている。こども食堂は、民間のボランティア活動が食の部分で繋がり、持ち寄ったものを皆で食べるという空間ができ、今までとは違うアプローチである。それでは、本日は校長先生も来られているので、学校の立場から、居場所をどう考えているのかお聞かせ願いたい。

委員 今までのご意見は、非常に共感できる。学校は、地域コミュニティの核の存在であり、学校と家庭と地域と共に歩むスタンスがますます重要になってきている。子どもの居場所は、子どもが認められる場所であってほしい。一人でなく相手があって初めて社会で生きていけることから、自己肯定感が大事になる。特に国府津小・中学校では、自分が認められている、役に立っているという自己有用感を大切にしている。保護者や地域等が、自分達のために様々な活動を計画し、居場所をつくってくれていることを素直に感謝できる子どもを育てていきたい。子どもの心が健康で安定して、初めて学力、気力、体力が充実していくと思う。最近の子は、相手に認められることが、さらに重要なためので、そういった意味での居場所づくりになってほしい。

議長 小学校では自己肯定を大事にし、県民祭りで中学生が働いたり、地元の壮行会で松下祐樹選手が、地元の皆さんへの感謝を述べていた。学校で取り組んでいることはあるか。

委員 小中学校で交流があり、挨拶を自分から進んで笑顔でさわやかに出来る子どもに、間違いはないということで、毎週月曜日中心に挨拶活動をしている。最近は頭まで下げて挨拶が出来る子が増えてきたため、そういう子を増やしたい。居場所も色々あるが、子どもが整えられた環境で過ごすだけではなく、使った場所は片付けて感謝することも大事だと思う。

議長 先ほど何をしたいかと聞いたら勉強したいという話があったが、学校ではどうか。

委員 中学は、放課後3時30分から6時30分まで部活動に費やす子が多く、入部率は約60%～70%となっている。認めてもらえる機会を作るとするのは、大事なキーワードだと思う。地域において、存在感を持てる活動が展開されることが大事である。具体的には市の防災訓練で、城南中学の2年生が早川小、大窪小に出向き、消防団の方から事前に習った三角巾の使い方を小学生に教えているが、非常に好評である。助けられる側から助ける側になり、地域の力になることを子どもたちも認識する。早川では、敬老の日に、テニス部が高齢者と異世代交流をしている。行事を通じて自分のいる場所が確認され、地域で人の役に立つのがうれしい状況であり、地域の方との挨拶により人間関係がつけられていくと思う。地域のボランティアの力が子どもたちに還元されているのは事実。中学の校長会では、酒匂のこども食堂は、食の提供だけなのはどうかという話もでていた。家庭をどう地域でバックアップしていくのかが大事だと思う。

議長 委員は、地域で活動されているがどうか。

委員 市の防災訓練に、親子で参加する良い環境を作っていただいた。子どもも助けられる立場からだったが、助ける力を持っているという存在感も出たと思う。学校全体で、地域へ支援に行かれるような環境作りをすれば、さらに参加者が増え、地域との交流も図れるのではないかと。子どもも消防から教わり地域の人を教える機会を作ってくれたのをありがたく思っている。地域の行事では、楽しみたい子は来るが、防災訓練は確実に参加するので良い。

議長 居場所というと、固定の場や空間を想定しがちだが、今の発言は関係性の問題なので、色々な取り組みの可能性はある。高校生は、どういう問題意識をもっているか。

委員 高校生も自分を認めて欲しいと考えている子は多い。色々な活動を通して、自分に自信を持っている子もいるが、自信がない子の方が多い。家庭でも認められず、学校でも居場所がない子もいるが、職員には子どもの長所を褒めて、認めてあげて欲しいと言っている。そうすると子どもも心を開いて色々と話をしてくれる。リストカットする子もい

		<p>るが、自分を見て欲しい、認めて欲しいのだろう。高校生は完全な大人ではなく、まだまだ子どもの子も多い。そういう子に自信をつけさせて社会に出していくにはどうすればいいのか試行錯誤している。生徒には、歴史もある学校なので、地域に貢献しようと話をしている。吹奏楽部の地域貢献もあるが、校舎を解放し、生徒が小・中学生に勉強を教えることもできると思う。チャレンジショップの城湯屋を、小・中学生と一緒にやることにより、相乗効果もあると思う。</p>
議	長	<p>吹奏楽部の演奏は素晴らしくて地域も感動しており、入部のために、高校を希望する生徒もいる。</p>
委	員	<p>現在、100名超の部員が在籍しており、イベントの要請があると二つ返事で了解してくれ、様々なイベント等でも活躍してくれている。</p>
議	長	<p>高校生が勉強を教えるという発想はなかったもので、実現すれば素晴らしい。子どもの置かれた状況は変化し、大人に計り知れないこともあると思うが、子どもの立場、今置かれている状況に鑑みて今日のテーマについてご意見をお願いしたい。</p>
委	員	<p>児童相談所に異動して1年経つが、以前は生活保護の部署に長くいた。お金を与えるだけでなく、生活保護家庭の子ども税金を払える子にするため、福祉事務所で、小・中学生を高卒にしようと勉強を教えていたが、参加者の増加により、NPOに委託した。来られる子は、情報も得ることができて問題はあまりないが、来ない子は、関わりにくいと思われる世帯の子で、地域でもひっぱりだせないため、課題だと思っている。子ども食堂は賛否両論で課題もあるが、全国でも増えてきており、子どもを地域で育てていくことは、児童相談所としてもありがたいと思っている。</p>
議	長	<p>最近小田原でも、シニア世代で活動意欲のあるグループもある。子どもにとっての時間の意味合い、何もしないことも大事だと話もあったが、和田委員にその辺りも含めてお話いただきたい。</p>
委	員	<p>教育の3本柱、学校、家庭、地域の教育力という視点から言うと、最近家庭と地域社会の教育力の低下が言われている。学校教育に、おんぶに抱っこという状況だが、居場所という視点からいうと、毎日の生活の基盤である家庭や地域社会が担うべきだ。学校は、安全で安心</p>

できる場所であることが保障されているが、そういう場所になり得ないという課題がある。家庭や地域社会の居場所は、過剰な競争意識がなく、誰でも安心していられる場所だと思う。居場所条件では重要なことだと思う。それを一歩進めると、互いに存在を肯定的に認め合える仲間がいること、もうひとつは、発達障害などといった様々な特徴をもった子どもが増えており、多様な子どもたちの存在をきちんと把握できる、専門的なスキルを持った指導者がいることが、子どもの安心につながる。学習支援、プレイパークなど多様な場所も出来たが、空間だけでなく人のつながりもそこにはあるのが重要な要素である。本日、こうした議論の機会を持てたことは、とても意味があると思う。

議長 今後の課題や提案でもいいが、他にはどうか。

委員 子どもは、両親の色々な考え方を基にしながら、人とのコミュニケーションや、子ども同士の関わり方をまず親から学ぶ。居場所を良くするには、人とのコミュニケーション能力が必要で、これは親が方向付けをしていると最近気がついた。居心地のいい状態を作っていくのは、人間関係だと思う。地域で子どもを育てるなら、地域にいる親が子どもに何を見せているのかというのもポイントだと感じている。

議長 場所や空間だけでなく、地域の親が同じ思いで接するのも大事だと思う。桜井の方ではどうか。

委員 今年初めて連合自治会長になり、全て分かっている訳ではないが、行事の遂行が主になっている。小・中学校に幅広く声をかけることが、欠けていたと思う。5月のクリーン酒匂では、城北中学校の生徒が約100人参加し、終了後、麦茶を飲みながら雑談した。行事にも声掛けをすれば、接点が増えて一緒に参加できる場が出来ると思う。

議長 ぜひ期待しています。警察のお立場からも、何かお話いただきたい。

委員 少年は、非行、行方不明、相談等、問題がある人が警察に来るが、家庭環境に問題があることが多い。行方不明の場合に、ラインの連絡だけでなく、もっと真剣に探した方がいいと思うこともあり、やはり家庭が大事だと思う。警察も一時的な措置しかせず、行方不明であれば発見活動をするが、継続的なものは、児童相談所や相談センターに引き継いでいる。警察の少年剣道は指導者不足なので、部活等で指導に

来てほしい。

議長 ありがとうございます。主任児童委員のお立場としていかがか。

委員 6年前から主任児童委員をしており、子育て広場のモデル地区として、月に2回永塚公民館ではじめた。3年前から高齢者が交流する広場を設け、他の公民館でも年6回実施している。就学前の子を連れてお母さんは、保護者同士の情報交換を楽しみに来ている方が多い。敬老会の時は、千代小・中学校の吹奏楽を楽しみにしており、最近は10組くらいだが、広場にアンパンマンを呼ぶと60人位になるので、大勢の方に来てほしい。

議長 出番があることで関わりが生まれてくる。定着されましたね。委員はどうですか。

委員 保護司の活動の一環として、7月1日に、小田原駅で市長を先頭に署名運動を行った。市長ご苦労様でした。犯罪を起こした人の更生を助けているが、二十歳過ぎだと直る人も多いが、中学生だと保護司の言うことも聞かないのが本音。私は白山地区の保護司だが、ここ2・3年は、中学、高校も保護監察の子が少ない。地域の方や教育委員の方にお礼を言いたい。7月20日に、「市民の集い記念コンサート」を市民会館で実施するので、ご参加願いたい。

議長 ありがとうございます。お二人の委員にも時間がない中で恐縮だが、一言ずつお願いできますか。

委員 敬老会やゆりかご園のバザー等の地域行事に、触れ合いを大切したいので参加している。敬老会では、幼稚園生と高齢者が支え合っていくことが大事なことだと思い、子どもに声掛けをしている。餅つきなどの行事を一緒に行う中で、自然に会話が生まれることが大切なので、地域行事や地域コミュニティに参加している。

委員 昔は子どもが多く、15人くらいで遊んだ時代に育ってきた。今は子ども会や自治会でも事業をしており、相当過保護だと思う。少子化もあるが、皆の意見を聞いていると、今の子どもは守ってあげないといけない。行事においても、一緒に話をするのが大事だと思う。自分の育った時代と違うが、居場所づくりについては、各団体でも討論し



ており、我々が子どもを支えてあげることだと思う。

議長 ありがとうございます。委員が発言された、存在が認めてもらえるというところが、全体を通したポイントであると感じた。具体的な場や、今後の取組、地域の普段の在り方等、居場所づくりの議論ができたと思う。子ども青少年部、教育部でも受け止め、意見を参考にして、それぞれの立場を通じた居場所機能の強化につなげてもらいたい。放課後子ども教室と児童クラブの連携、スクールコミュニティ、学習支援の場、こども食堂、子どもたちの新しい役割、色々な関係施設づくり等、色々な切り口があるので、また議論できるような形で成果をお出しただけるとありがたい。「市民の集い記念コンサート」は、皆さんに参加してもらいたい。以上で意見交換を終了させていただく。

### (3) その他

議長 次に(3)「その他」ということで事務局から何かあればお願いしたい。

事務局 小田原市教育委員会から「小田原市いじめ問題対策連絡会」委員1名の推薦依頼があった。推薦締め切りが6月18日だったため、事務局判断により、橋本副会長にお声掛けをさせていただき、ご快諾いただいたので、委員として報告をさせていただいた。

議長 閉会の辞を副会長にお願いしたい。

副会長 私自身、会社で採用面接や社員教育を担当している経験から、小学校時代に挨拶が出来た子が、中学に行くと挨拶や人とのコミュニケーションが出来なくなる新卒の子がいる。学校だけの問題ではないし、子どもたちを認め、色々な面で考えて世の中で育てくべきだと感じている。返事ができないのは珍しい事ではなく、家庭でやっておけばできるようなことが、出来ていない状況である。皆さんのお話を参考に、改めて居場所づくりや、お互いに人間として尊重し合い、育て合うことも大事だということを、地域、家庭、学校の中でもお願いしていきたい。

議長 以上で青少年問題協議会を閉会とさせていただく。本日は大変にお疲れ様でした。